

第9回 排水処理技術セミナー

主催：静岡県資源環境技術研究会、静岡県環境保全協会、静岡市環境保全推進協力会
共催：静岡県工業技術研究所

排水処理技術は企業の生産活動に無くてはならない技術ですが、情報収集の場が限られているのが現状です。本セミナーは、排水処理の最新技術から基礎技術までをカバーする情報提供の場として2012年度に初めて開催され、今年度で9回目を数えますが、「With コロナ時代」に対応するためWeb会議システムを利用した配信により開催します。

今回は、先端的技術トピックであるAI・IoT技術を利用した電気設備の遠隔監視・診断技術について、県内排水処理場への導入事例を交えてご紹介します。また、前回セミナーで始まった基礎講座「排水処理技術の原理と処理方法」の第2回目も企画しました。奮ってご参加下さい。

日時 令和2年12月1日(火) 13:30～15:50

開催方式 Web 会議システムによる配信(詳細は裏面参照)

定員 80名(定員になり次第締め切ります)

参加費無料
(通信料別途負担)

プログラム(開始:13:30)

■ 講演1 : 13:35 ~ 14:35 (60分)

「AI・IoT を活用した電気設備の遠隔監視・診断技術」

講師:株式会社 明電舎 ICT統括本部 企画開発部 DX開発課 藤田 浩輔氏

高度成長時代に普及した社会インフラは、老朽化が進んでいます。また、ベテラン人材が少なくなっている現状、インフラの維持・管理は重要な課題です。当社もインフラの維持・管理のため、AI・IoT技術を活用した遠隔監視技術及び、設備診断技術の開発を行っています。本講演では、当社が取り組んでいる「AI・IoTを活用した電気設備の遠隔監視・診断技術」について、基本的な技術や実際の導入事例(静岡県某浄化センター等)をご紹介します。

■ 講演2 : 14:45 ~ 15:45 (60分)

「排水処理技術の原理と処理方法の基礎

第2回：生活系廃水等有機系排水について」

講師:井辺技術士事務所 代表 井辺 博光氏

国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の目標6には「排水処理」の重要性が記載されています。この目標を達成するためにも、排水処理技術の向上が不可欠です。今回は生活系廃水を主体に微生物を活用した排水処理技術について原理から基本的な処理方法をわかりやすく説明します。是非、生物処理の奥深さを知って頂きたいと思います。また、講演を通して、今後第2のコロナウイルスなどが出てくる可能性も理解して頂けると幸いです。

開催要領

1) セミナーをお申し込み後、視聴に必要な招待メールをお送りします。

- お申込みの際は、必ず E-mail アドレスをご記入下さい。
- セミナーの配信には、Web 会議システム(Cisco Webex Meetings)を利用しております。安定した視聴には専用のデスクトップアプリの利用が必要です。アプリのインストールや視聴方法は以下の URL をご参照下さい。

URL:https://www.iri.pref.shizuoka.jp/news/upfiles/20200907103948_65886.pdf

- 各講演は、所定の時間帯にのみ配信しております。配信時間をご確認のうえ、予定の時間になりましたらご参加下さい。

2) 各講演内容に関するご質問は、メールにて受け付けております。

- いただいたご質問は事務局が取りまとめ講師の先生にお渡しします(セミナー翌日まで受け付けます)。講師の先生からの回答は事務局が質問者にお届けします。

【ご注意】セミナー映像の録画(音声の録音を含む)や他の目的への利用はご遠慮下さい。

お申込み

先着順受付

申込期限:令和2年11月25日(水)

申込先:静岡県環境保全協会 事務局(担当:繁村、畔柳)

問合せ:054-254-9663(TEL)

saep-mtoy07@topaz.ocn.ne.jp(E-mail)

必要事項《①会社名・住所、②連絡先、③参加者の所属・氏名》を明記の上、電子メールにてお申込下さい。

E-mail

saep-mtoy07@topaz.ocn.ne.jp

静岡県環境保全協会 事務局 宛

参加申込書			
会社名 機関名			
機関住所	〒		
連絡先	TEL:		
	E-mail:		
参加者	所属 役職		氏名

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※定員を超えた場合はご連絡させていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、当セミナー開催に関する目的以外に利用することはありません。